



●ヒガンフグの最大は1.8キロ



●根周りではヒガンフグもよく釣れた



●根掛かりに注意しながら釣っていました



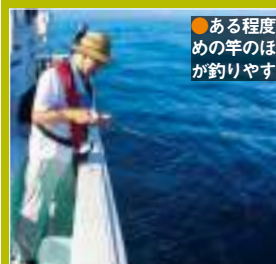
●ヒガンフグはほぼ全貫刺を引かれた



●翌日にはトラフグも釣れた模様



●型がいいから合わせた瞬間も衝撃的



●ある程度長めの竿のほうが釣りやすい



●小さくても20〜25センチほど



●シーズンは来春までのロングラン



●動きを止めないように取り込もう



●大原のフグはシヨウサイがメイン



●タイミングで空合わせを入れるのもあり



●当日は大原〜太東沖の水深13〜18メートル前後を狙った

SOTOBO OHARA FUGU

Fishing Season Start



●外房大原のフグ釣りが今シーズンも開幕した

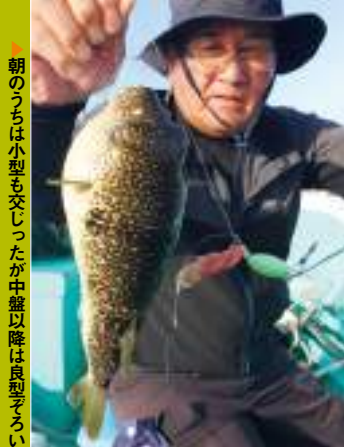
▼カットウオモリは25〜30号



▼船宿で購入できるエサはアルゼンチンアカエビ

外房大原港出船 外房大原のフグ開幕！ 今年は今型主体のスタート

撮影●鈴木良和



●朝のうちは小型も交じったが中盤以降は良型が多かった



●40センチ近い大型も



●開幕を待ちわびていたファンは多い

●群れが固まれば数ものびるはず



外房大原のフグ釣りが9月に解禁となった。開幕2日目の取材では大原〜大東沖の水深16〜18メートル前後を転々と探り、18〜40センチ級を3〜16尾。数こそびなかったが釣れるシヨウサイフグは30センチオーバーの良型主体。さらに根周りのポイントでは2キロ近いヒガンフグが交じるなどして盛り上がった。

前日、翌日もトップで20尾以上釣れているし、反応もまだ固まっておらず、ポイントを探りながらの釣りなので上々のスタートとっていいだろう。シーズンは来春までのロングラン、今期はほかのエリアでもシヨウサイフグの模様がこれから今後の大原にも大いに期待したい。
(詳細は54ページ参照)



●外房大原港・利永丸 中井 春樹船長